

消防団の方々から、けしからん！

「飲みたがり食いたがりの消防団員などいない」とおっしゃいます。

当然でしょう。

私も、そんな人はいないだろうと思っていますもの。

ご隠居は、交付税の使途が不明であることを、税金の使途として不当だと嘆いたところ、3町選出の議員おふたりが、

「いや、使途ははっきりしている。宴会費用だ」

「拝み倒して、団員になってもらったんだから、お礼が必要だ」と教えてくれたのです。

しかし、消防団員は、全員、非常勤特別職公務員です。

今時、公務員が公費での宴会はないよな～と思いますし、

消防団の意義を認めて入団されたからには、特段の「お礼」や「飲み食い」など期待しておられないだろうに…と考えたものです。

地域を守る意気軒昂な若い団員に対して、お礼などという発想自体、かえって失礼なんじゃないか…とも感じます。

だから、熊さんは、

「どうかしてるよ。そんな飲みたがり食いたがりの消防団員などは、

いらないんじゃないのかい？」と言ったもので、

消防団全体が、飲みたがり食いたがりだと言ったわけではないのです。

どうぞ、全体の流れを今一度、読んでいただきたいと思います。

加えて、考えたのは、

「どうして拝み倒して入ってもらおう状況なのか」ということです。

何か、どこかに無理があるのか、活動内容はどうか、

仕事を持ちながら、かつ、町外勤務では難しいのか、できるのはどこまでなのか…

はたまた、当節の若者気質によるものなのか、時代なのか…

それらを真摯に分析し、

これからも継続するならば、然るべき対策を講じるべきではないのか…

と思うのですが、いかがでしょうか。

そこで、12月2日の一般質問では、具体的な提言をしました。

- きちんと出ている報酬や費用弁償を、団員本人に渡すべきこと（でないと違法です）
⇒私費で、ノミネーションを図るのは大いに結構です
- 日中、町内にいる女性を団員に採用してはどうかetc
⇒火災は何より出さないのが肝心。予防に力を入れる県内「みよし市」には47人も女性団員がいます。
- 行革としては、まずは、3団を1団に統合して無駄を省く具体策を講じるべきことを求めたものです。

当日、傍聴にみえた団員やOBの方たち複数から、「私らはボランティアで地域のために動いている」と伺いました。私も、そのことはよく承知していますし、黙々と頑張っておられる方がいらっしゃることに敬意を表すものです。だからこそ、そういう気持ちを尊重しつつ、合併早々から赤字団体に転落した新市の財政難にも理解をいただきながら、よりよい方向を探っていくべきではないかと思うのです。

合併によって、3町は3町でなくなりました。
新市として、地域の防災力はどうかは、重要なテーマです。
これからも、他市の状況も調査しながら、一緒に考えていきたいと思っています。